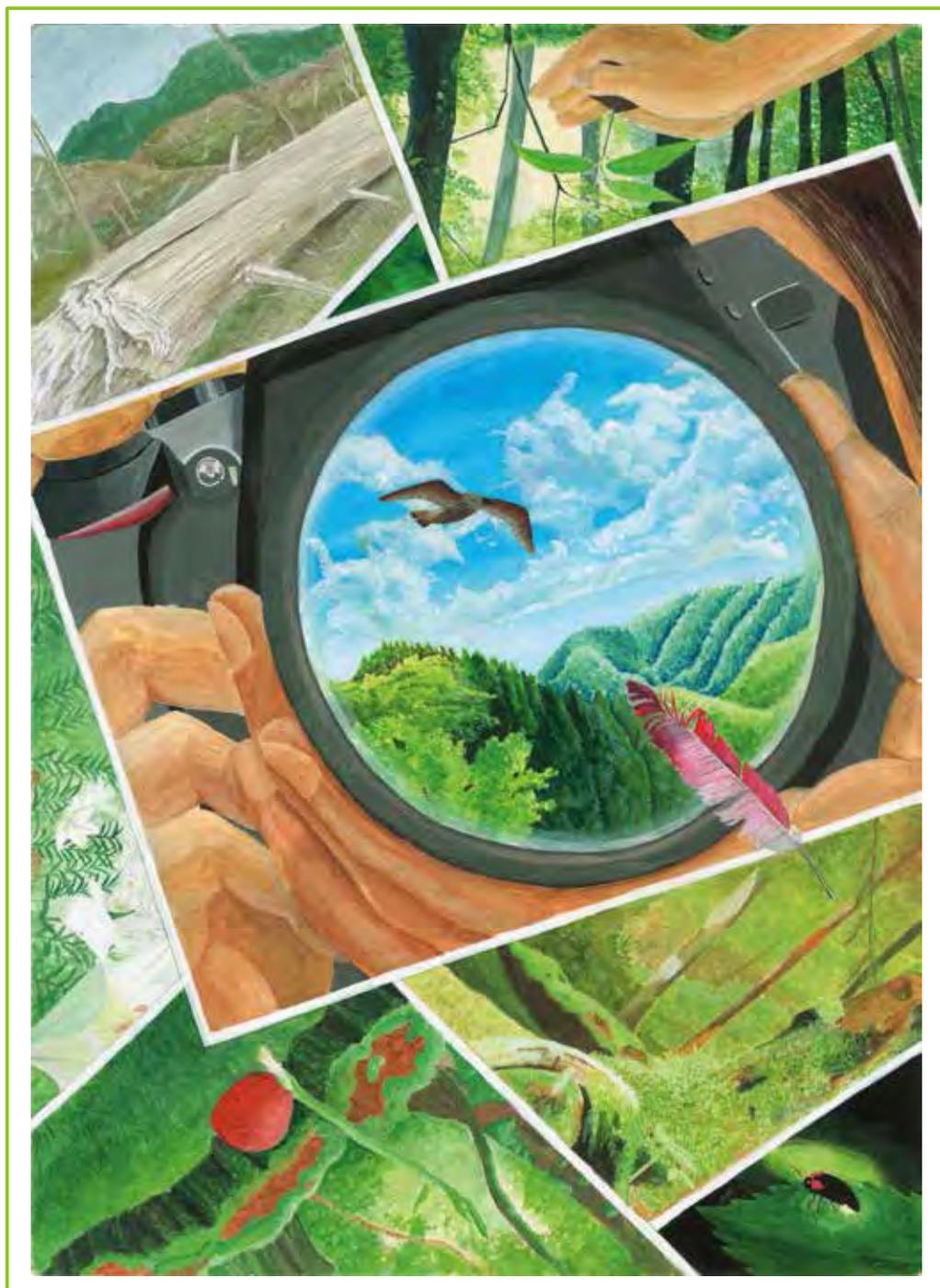




vol. 36

2019.3



公益社団法人 千葉県緑化推進委員会

千葉の自然公園には
魅力的なスポットがいっぱい

緑の中で アクティブに

体を動かそう！



千葉県には豊かな森林や緑地があり、さまざまな自然公園が設置されています。自然を守りながら、誰でも訪れ楽しむことができる自然公園。近年はより活用の幅を広げるため、そしてたくさんの人に訪れてもらうために多種多様な工夫がされています。
お天気の良い休日には、自然公園を訪れてみませんか？

自然と自由に触れ合える 体験型施設の必要性

既存の森林や地形を生かした自然公園には、いわゆる都市型のレジャー施設とは一線を画した素朴な魅力が溢れています。森林には四季折々の特徴があり、空気感も景色も多様。季節によって移ろう緑の色、虫や小鳥などを間近で観察することも可能で、子どもたちにとっては貴重な体験学習の場にもなります。

こうした体験を積極的に行うため、近年は都市部でも身近な公園などを活かしたプレイパークなど

が積極的に設置されており人気を博しています。

学校の授業や、机の上の学習だけではわからないダイナミックな自然を知ることができたり、五感をフルに活用して新たな発見を楽しんだりすることができるため、休日にはあえて遠くの体験型施設へ出掛けるという人も多い昨今。自然公園は重要な役割を担っているとと言えます。

アクティブに体を動かして、 思い出にも残る一日を

近年増えているのが、こうした自然公園に開設されるアスレチックなどのエリア。小さな子どもでも楽しめるタイプのものから、大人でも苦戦するような本格的なものまで、その内容はさまざまです。積極的に体を動かしてこそ得られる満足感は経験した人にしかわからないもの。

土と触れ合うことに抵抗のある子どもでも、夢中になってアスレチックにチャレンジしているうちに、自然と触れ合うことが当たり前になるなど、屋内施設とは少し違った楽しみがそこにはあります。季節ごとの日差しや風を感じ、鳥のさえずりなどの音を聞きながら過ごす時間は何ものにも代えがたい経験になります。

新しい発見があったり、小さな感動を見つけたりできるのも面白さのひとつ。体を動かして得た感動は、きっと忘れられないものになるでしょう。

ウォーキングや散策も

自然公園へ行ったら、アスレチックだけでなく、ウォーキングやのんびりとした散策もぜひ楽しんでみたいものです。

元来、森林には人をリラックスさせる効果があると言われており、日々の喧騒を離れてリフレッシュするのもうってつけです。千葉県内の自然公園には遊歩道を整備したり、散策用のルート設定をしている公園もあり、目的に合わせて公園を選んでみるのも良いでしょう。

また、春の桜のシーズンなどに一度出かけた自然公園でも、別の季節に訪れたらまったく違う景色に見えるなどということも……。繰り返し訪れることで一層



四季折々、景色の変化を楽しめるのも自然公園ならではの、定期的に通い、植物や野鳥の定点観察をしてみるのも面白い。

楽しみが増えるのも、自然を相手にしている公園ならではと言えます。

お天気の良い日にはぜひ出掛けてみませんか？

自然公園とは？

自然公園とは、優れた自然の風景地に区域を画して設けられる公園のことで、その風景地の内容や指定方法により「国立公園」「国定公園」「都道府県立自然公園」の3種類があります。千葉県には、2つの国定公園と8つの県立自然公園があります。

これ以外に市町村が指定する自然公園等があり、その地域の特徴を生かし、さまざまな保護や活用が行われています。

基本的に公園内では樹木を傷つけたり、植物や動物を採取したりする行為は禁じられています。また生態系に影響を与えないため、魚などの放流、動物へのエサやりなども行ってはいけません。

泉自然公園 (千葉市)

1969(昭和44)年に千葉市の都市公園(風致公園)としてオープンした泉自然公園は43haもの面積を誇ります。起伏に富んだ地形は自然そのもので、大規模な池や森林、広場などがあり植物の多様性なども目を見張るものがあります。特にカタクリやキツネノカミソリなど、野草の群生は他では見られない貴重な里山の風景です。

また、1500本ほどもある桜が咲き乱れる春の景色は圧巻。日本さくら名所100選にも選ばれており、多くの花見客でにぎわうほか、秋の紅葉も人気があります。広場や草原でピクニックを楽しんだり、水辺や森で野鳥観察



カタクリ

キツネノカミソリ

泉自然公園
千葉市若葉区野呂町108
☎043-228-0080
<http://izumi-park.city.chiba.jp/>

フォレストアドベンチャー
☎090-5535-1230
<https://fa-chiba.forest-aventure.jp/>
※利用条件や料金はホームページをご覧ください。
※インターネットからの事前予約がおすすめです。

をしたりとその楽しみ方もさまざま。

この公園の中央付近に開設されたのがフォレストアドベンチャー。本格的なアスレチック施設ですが、環境に配慮し森をそのまま使用しているのが最大の特徴です。専用の安全器具を装着し、森の木々の間を空中移動していくスリルと爽快感が評判となっており、動物や鳥と同じ目線になって冒険気分が満喫できます。

フォレストアドベンチャーは、全国に展開されていますが、森が違えばまったく違う雰囲気となるため、まさにその場所に行かなければわからない楽しさが満載です。

清水公園 (野田市)

醤油醸造業柏屋5代目の茂木柏衛が市民のために1894(明治27)年に開園したという、125年もの長い歴史を持つ清水公園は入園無料(有料施設あり)。日本さくら名所100選に選ばれているだけでなく、梅、ツツジ、牡丹、藤など約500種の花が植えられており、四季の移ろいを感じることができます。

キャンプ・バーベキュー場(要予約)、ポニー牧場、アクアベンチャー、花ファンタジアなどさまざまなエリアがある中、特に人気なのが地形や森林を生かしたフィールドアスレチック。

冒険コース、チャレンジコース、水上コースの3種類があり、校外学習等で訪れる学校も多数。大人でも苦戦する本格的なスポーツ施設です。小さな子ども向けにポニー牧場内にはミニアスレチックもあります。



清水公園 野田市清水906 ☎04-7125-3030
<https://www.shimizu-kouen.com/index.html>

手賀の丘公園 (柏市)

手賀沼の台地に1992(平成4)年にオープンした手賀の丘公園。大部分は自然そのままの森林を残しており、自然を学び、ゆったりとした時間を過ごすことができる市民憩いの場です。

公園内にはバーベキュー広場やキャンプ場があり、小学校の夏休み期間には、水遊びのできるじゃぶじゃぶ池もあり、家族で楽しめる人気です。

シラカシやスタジイなどが生い茂る森にはウサギ、イタチ、アズマモグラなどの小動物、カワセミなどの野鳥、昆虫なども多く生息しており、自然観察にはもってこい。イタチのトンネル、モグラの迷路など個性的な名前のついたアスレチックが無料で楽しめるのも嬉しいところです。



手賀の丘公園 柏市片山275 ☎04-7193-0010
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/110900/p002529.html>

都市の中の小さな森

身近な緑に注目してみよう!



千葉県内の都市部にも、魅力的な森があるのをご存じですか? これらの多くは市民が自ら守り、育て、活用しているもの。今回は千葉県自然観察指導員協議会の会員が整備や観察会を行っている森をご紹介します。



1 溜ノ上の森 (松戸市幸谷)

住宅に囲まれた小さな森ですが、「地域の人から愛される、多様な生き物が棲める森」を目指し、14年前から自然が好きな女性たちを中心にコツコツと整備を行っています。明るい森は植物の種類が豊富で、散歩路にはベンチも。常時開放されており、夏の虫のイベントは小さな子どもたちにも人気です。



【溜ノ上レディーズ】活動日:第2、第4金曜日10:00~12:00

2 大畔の森 (流山市大畔)

湧水池とその周りの林、草地、果樹園、小さな田んぼ、畑、池など多様性に富んだ市所有地をボランティアが整備。希少種保護の観点においても貴重な場所となっています。現在は一般公開していませんが、年に数回自然体験教室を開催しており、子どもたちとの交流の場にも活用されています。



【里山ボランティア流山】活動日:毎月第2、第4日曜日(変更あり) 9:00~12:00

4 紙敷石みやの森 (松戸市紙敷)

針葉樹林と広葉樹林が交互に広がる森には、江戸時代から森が大切に守られて来たことを示す小さな石の祠「石みや様」が鎮座しています。また、総延長160kmにもおよんだと言われる江戸時代の野馬除け土手の跡もあり、歴史と自然が感じられる「健康と癒しの森」となっています。



【松戸里やま応援団 七喜の会】活動日:第1火曜日、第2木曜日、第4土曜日午前中

3 大町教育の森 (市川市大町)

千葉県の教育の森に登録されている民有の樹林地。所有者の方の「先祖から受け継いだ森を森のまま残したい、森はまた来たくなるような気持ちの良さや景観が大事」の言葉を受け止め、里山保全に関心の高い市民ボランティアが保全整備を行い、市民が自然と触れ合える場を提供しています。



【大町教育の森の会】活動日:第2土曜日、第4木曜日10:00~14:00

5 根戸の森 (我孫子市根戸)

自然が少し残っているこんもりとした森は、小中学生の通学路の中にあり根戸森と呼ばれています。市民と一緒に自然観察をする「根戸森の身近な自然観察会」を15年実施しており、観察した植物約300種・昆虫約300種・野鳥75種・生物約20種などの成果を観察展でお知らせしています。



【根戸森の身近な自然観察会】活動日:毎月第3土曜日10:00~12:00

情報提供:千葉県自然観察指導員協議会

自然観察指導員講習会を受講した指導員が中心となり、指導員の交流と資質の向上を目的として設立された協議会。現在300名近くの会員が県内各地域でさまざまな環境保全、環境教育活動を行っています。

今回の学校は

地域の森を生活科の学習で活用
— 袖ヶ浦市立蔵波小学校 —

1年生が生活科の授業で秋探し

毎年秋になると、袖ヶ浦市長浦にある千葉県の「緑化推進拠点施設」内の森林に、かわいらしい声が聞こえてきます。これは蔵波小学校の1年生が校外学習に訪れているもの。平成30年も11月14日に163名が元気に「秋探し」の散策をしました。

学校周辺は閑静な住宅街で、児童公園などは点在するものの、自然を感じられるほどの規模ではありません。子どもの足で40分ほどかかりますが、徒歩圏内にあるこの森はとても貴重な学習の場です。

「学校の近くに森があることさえ知らない子どもがほとんどで、毎年とても楽しく学習しています。ドングリにいろいろな種類があること、柏餅でおなじみのカシワの葉が実はとても大きいことなど、子どもらしい視点でいろいろな発見をしています」とは、学年主任の稲葉理恵先生の言葉。緑化



推進委員会で用意した、木の葉の見本やクイズのプリントなども活用し、楽しみながら生活科の学習をしています。

五感で感じ、学ぶ

班別の活動で森を探検したり、芝生の上でお弁当を食べたりするのも楽しい経験ですが、学校に帰ってからも学習は続きます。「持ち帰ったドングリでコマを作り、どの種類がよく回るか?を考えたり、校外学習でお世話になった方々にお礼の手紙を書いたりするのも生活科としてはとても大切な要素です」と稲葉先生が語るように、生活科は人と人との関わりや、自分で考えて工夫することなどを学ぶことも重要です。

目で見たり、匂いを嗅いだり、触れたりして五感を研ぎ澄ませながら学ぶことで、「秋探し」は、忘れられない一日になっているとのこと。森林は、教科横断的にさまざまな学習の場となっています。

これからも毎年1年生の「秋探し」を続けていきたいと蔵波小学校。地域の森が教育と子どもたちの成長の場として、活用されています。

※緑化推進拠点施設には4ヘクタールの森があります。緑化推進委員会では、この森を活用した校外学習等のサポートを行っています。ご希望の際はお問い合わせください。

班にわがれて秋探し!!



おすすめします。この本 a bookshelf



「透明水彩レンピ3 樹木を描く」
著者/JWS(日本透明水彩会)編
日貿出版社 2,000円+税

風景を描く上で欠かせない樹木の描き方を特集。人気作家が多数所属する日本透明水彩会メンバーの作品に加え、光と影の捉え方や遠景・中景・近景にある樹木の描き分け、ぼかしと滲みの使い分けなど、さまざまな技法がわかる一冊。巻末にはメンバーがお薦めする日本各地のスケッチポイントも紹介されており、絵を描かない人でも楽しめる。



「みちかな 樹木のえほん」
編者/国土緑化推進機構編
絵/平田 美紗子
ポプラ社 2,500円+税

身近な樹木30種について、種の分類や大きさ、開花の時期や見られる場所などの生態だけではなく、木に集まってくる生きものたち、暮らしにどのようにして役立っているかということなど、いろいろな側面から紹介。ぬくもりある美しいイラストは、林野庁図書資料館の平田美紗子氏による完全描きおろし。

今回ご紹介した2冊のいずれかを各1名様にプレゼントします。ハガキに、ご希望の書名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、(公社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント」係にご応募ください。また、本誌をご覧になった場所、ご意見、ご要望もお書き添えください。あて先は8ページ下締め切りは7月末日(当日消印有効)です。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



2018年は10月20日に歩道整備活動を行いました



林野庁関東森林管理局千葉管理事務所指導を受けながら、植林や枝打ち、草刈など、その時々々の森の生育状態に合わせた作業をします。昨年の秋は50名ほどが参加し、歩道を整備。斜面や茂みの奥深くまで入り、缶やペットボトルなどのゴミを大量に回収しました。

「ドコモの森」は、地球環境保全を目的とし、1999年から全国47都道府県、49カ所に設置され、約190haもの規模を誇ります。地域の方々の交流を深めながら、それぞれに森林育成活動を行っています。「定期的に森の生育環境を整えながら参加者同士がコミュニケーションを深めていくことに、企業の森としての価値があると考えています」と、企画総務部の松尾憲昭さんは話します。

鹿野山で森をつくる

県内では、富津市の鹿野山に、約2.3haにわたって「ドコモの森」が広がります。「年に1回、社員やその家族たちが森に入り、レクリエーション感覚で、楽しみながら森の整備を行っています」と、松尾さん。

DATA
株式会社ドコモCS千葉支店
NTTドコモの機能分担子会社としてネットワーク建設、保守・運営、品質管理、法人営業、代理店支援、ドコモショップ事業、各種研修事業等々、地域に密着した事業を展開している。

作業後は、参加者全員が近くの牧場でバーベキューをしたり体験教室に参加したりと、充実した一日を送りました。「新入社員が積極的に参加するなど、毎年恒例の人気行事となっています。今後は、安全第一に、長い目で、森をしっかりと育てていきたいと思えます」と、松尾さんは話してくれました。



クラフト体験なども実施

森の名手・名人

(公社)国土緑化推進機構を中心に行われている「もりのくに・にっぽん」運動。その一環である「森の名手・名人100人」に、平成30年度は千葉県から5名が選ばれました(今回が最終選考)。

三平 文秋さん(君津市・59歳)
〈森の恵み部門〉



品種特性に応じたきめ細かな生産技術を有する、シタケ栽培の名人

小川 小太郎さん(山武市・69歳)
〈加工部門〉



卓越した技術により、複雑な意匠を表現できる建具・組子細工製造の名人

大竹 寛司さん(成田市・62歳)
〈加工部門〉



長年の研鑽により、優れた技術を有する素材生産・製材の名人

江澤 日出夫さん(茂原市・71歳)
〈加工部門〉



地域の里山を整備しながら、優れた品質の竹炭や木炭を焼く、炭焼き名人

岩田 和久さん(君津市・68歳)
〈加工部門〉



造林から伐採・製材の技術を有し、その道35年のログハウスづくり名人

～森林を守る 森林を活かす～ 春季・緑の募金にご協力ください

平成31年度 緑の募金運動
目標額 3,200万円



3月1日から5月31日まで県内全域で「春季・緑の募金」運動を行っています。募金運動の方法は各市町村で異なりますが、募金は当委員会、各市町村窓口、募金箱設置にご協力の企業・団体の事業所等でも受け付けています。

その他、企業・職場単位の募金、募金箱設置のご協力など、ご関心の際には当委員会までご連絡ください。

平成30年度の募金総額は30,900,852円に達しました。お寄せいただいた募金は、学校や公園といった公共施設の緑化や緑の少年団に代表される森林環境学習、森林ボランティア活動の支援などに大きく役立てられました。

また中央事業として引き続き東日本大震災被災地域の復興事業（白子町の海岸保安林復興植樹ほか）を行いました。



平成30年度公共施設等の 環境緑化事業を実施しました

(公社)ゴルフ緑化促進会並びに県内協力ゴルフ場のご協力のもと、プレイヤーによる緑化協力金を原資に、市町村から希望が寄せられた下記の公共施設などに植樹を行いました。



市町村	場所	樹種・本数
船橋市	農業センター	ドウダンツツジ197本 クリスマスツツジ54本
成田市	広沼街区公園ドッグラン	クスノキ3本
銚子市	末広町広場	サツキツツジ200本
長柄町	長柄町道1105号線	カツラ8本

第三期・県民参加による みどりの再生事業参加者募集

津波被害等が甚大な海岸林や、繁茂し拡大する竹林などを対象に、森林の再生に係る研修と実践活動を交えた講座を、平成30年度より3カ年間実施しています。参加を希望される方は当委員会ホームページをご覧ください。



国土緑化運動ポスター原画コンクール 展示会のお知らせ

平成30年度国土緑化運動ポスター原画コンクール入賞作品展示会を下記のとおり実施します。8,373点の応募のなかから選ばれた素晴らしい作品の数々です。次代を担う子ども達の緑や自然に対する思いやメッセージをぜひご覧ください。

当コンクールは平成31年度も実施します。沢山のご応募をお待ちしております。

期間	場所	展示作品
4/9(火)～ 4/15(月)	千葉市中央区新町1000 「そごう千葉店 地階ギャラリー」 *最終日は16:00まで	特別賞、特選、 入選、協賛賞 の計75点
4/16(火)～ 4/26(金)	千葉市中央区市場町1-1 「千葉県庁1階 本庁舎中庁舎連絡通路」 *土、日曜日は除く	特別賞、特選 の計36点
5/15(水)～ 5/23(木)	東金市東金1050 「千葉信用金庫 東金支店」 *休業日は除く	特別賞、協賛賞 の計15点
6/5(水)～ 6/13(木)	市原市青柳1706-1 「千葉信用金庫 青柳支店」 *休業日は除く	特別賞、協賛賞 の計15点
6/25(火)～ 7/7(日)	柏市柏の葉4-1 「県立柏の葉公園 公園センター内」	特別賞、特選、 入選、協賛賞 の計75点
7/23(火)～ 9/1(日)	千葉市中央区青場町977-1 「県立青葉の森公園公園センター内」	特別賞、特選、 入選、協賛賞 の計75点

※会場の都合により展示期間等が変更になる場合もございますので、最新の情報は当委員会ホームページでご確認ください。

緑化推進委員会の 賛助会員になりませんか

千葉県緑化推進委員会では「賛助会員」を随時募集しております。賛助会員とは、緑化推進委員会のメンバーとして安定した運営と事業の推進を応援いただくものです。

法人・個人を問わず広く皆様のご入会をお待ちしております。

会費 1口 10,000円/年



表紙の絵

表紙の作品は平成30年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、中学校の部、千葉県知事賞を受賞した、小沢 凜さん(中1)の作品です。



2019年3月発行
発行/(公社)千葉県緑化推進委員会 URL <http://www.c-green.or.jp/>
〒299-0265 袖ヶ浦市長蒲拓2号580-148
TEL.0438-60-1521 FAX.0438-60-1522
印刷/凸版印刷(株) TEL.043-350-5611

※この広報誌は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。